

◆ にかわ農村振興基本計画 概要版 ◆

① にかわ地域の現状

地域の情勢

(※下記に示す数値は、本地域に含まれる市町の合計値)

本編
p 3～76

●人口

- 総人口 地域全体の人口(H27)は 15.4 万人であり、**5市町ともに人口が減少傾向**(H12 比で▲8%) [p11～12]
- 年齢別人口 **少子高齢化が進行**し、65 歳以上の人口(H27)は 32%まで増加(H12 比で+10%) [p13～14]

●農業・農村

- 就業人口 **第1次産業の就業人口割合は全体の約5%**であり、年々減少傾向 [p15～16]
- 農家数 **農家数は減少傾向、高齢化も進行**(H27: 4,453 戸、H12 比で▲53%) [p17～19]
- 認定農業者数・集積率 認定農業者数(R1)は 406 経営体であり、**農地の約7割が担い手に集積**[p20]
- 経営耕地面積 **経営耕地面積は減少傾向**(H27: 約 1.1 万 ha、H12 比で▲6%) [p21]
- 耕作放棄地 **耕作放棄地は微増傾向**(H27: 140ha、H12 比で+12ha) ※土地持ち非農家の面積は除く [p22]
- 作付面積 地域全体(R2)で 9,957ha であり、**主穀作が 98%(米 82%)、園芸作物が2%**を占める [p24]
- 特産品 **ねぎ、さといも、だいこん、すいか等の野菜や、りんご、なし、もも、かき等の果樹**を生産 [p67～72]
- 鳥獣被害 **有害鳥獣による農産物の被害額は増加傾向**(R1: 3,000 万円)[p25]

●生活環境

- 交通 北陸新幹線金沢開業により広域交通の利便性が飛躍的に向上したが、地域交通については一部で公共交通空白地域が存在 [p27]
- 下水道 地域全体の下水道普及率は 96%。入善町が 100%に対して、朝日町が 87% [p28]
- 教育・保険・医療・福祉 少子化により減少する児童・生徒に対するより良い教育環境の確保や、高齢化による健康・医療・福祉に関する需要増加への対応 [p29～33]

●地域資源の分布

- 自然・観光資源 立山連峰から扇状地、ヒスイ海岸に至る山・川・海の豊かな自然が存在 [p35～47]
- 行事・イベント 農村文化を継承する行事や山・川・海の多様なイベントが開催 [p49～55]
- 歴史・文化資源 国指定文化財が 17 件、県指定文化財が 31 件、市・町指定文化財が 164 件指定 [p57～65]

●地域づくり・交流活動

- NPO法人 本地域にNPO法人が 43 団体存在 [p75～76]

農村振興に関するアンケート調査 (2020 年 10 月実施)

本編
p 77～81

●農業との関わり方

- 現在と 10 年後の農業との関わり方
 - ◇現在、農業に関わっている方(約3割)
 - ▶ 「個人や法人に農地をすべて委託したい(約2割)」「営農組織の構成員として、農作業に出役するなど経営に参画したい(約2割)」が上位
 - ▶ 今後、農業との関わりを薄くしたい方が約4割。その理由として「農業機械の更新に多額の費用がかかる(約6割)」「後継者がいない(約5割)」「農業所得が不安定・低い(約4割)」が上位
 - ▶ 今後の農地活用として「借り手があれば貸したい(約6割)」「買い手があれば売りたい(約4割)」「家庭菜園程度に管理したい(約3割)」が上位
 - ◇現在、農業に関わっていない方(約7割)
 - ▶ 今後、農業に関わりたいと思っている方は約4割

●地域に対する思い

- 一定住意向 「住み続けたいと思う」との回答が約7割、「住み続けたいとは思わない」との回答は1割未満
- 地域の誇り 「景観・自然環境(約5割)」「助け合いなど地域の絆(約3割)」「祭り・イベント等(約2割)」が上位
- 日常生活で困っていること 「若い世帯が少なく、今後の地域の維持が困難になる可能性がある(約5割)」「有害鳥獣の出没で、農作物や自分が被害に遭わないか心配(約3割)」「日用品の購入の際、店舗まで遠く買い物が不便である(2割)」が上位

●農業・農村の維持や発展に向けて

- 農業・農村が持つ多面的機能 多面的機能に関する認知度は約6割。年齢が高くなるにつれて高い認知度
- 多面的機能の維持において重要なこと 「農業用施設の適切な保管理(約6割)」「集落や水路、農道等の良好な景観維持・形成(5割)」「遊休農地の解消や発生防止(約4割)」が上位
- 農村地域の維持や発展に重要なこと 「雇用の確保(約5割)」「空き家の利活用(約3割)」「公共交通の充実(約3割)」が上位。「鳥獣侵入防止柵の設置等による被害軽減」については、中山間地域で約5割
- 地域農業の維持や発展に重要なこと 「農作業へのICT機器の導入(約3割)」「農業生産や生活に必要なインフラの整備(約3割)」「耕作放棄地の復元への支援(約2割)」が上位。「鳥獣被害への対策強化」については、中山間地域で約5割

② 上位・関連計画の整理

(1) 元気とやま創造計画 (2018.3 : 2018～2026 年度)

【全体の目標】 みんなで創ろう！人が輝く 元気とやま新時代—活力、未来、安心のふるさと—

【計画のポイント】

1. 意欲ある若い担い手の育成・確保
2. 農地集積の促進や農業経営基盤の強化
3. 多様な園芸産地の育成
4. 生産性の高い農業の確立

(2) 富山県農業・農村振興計画 (2018.5 : 2018～2026 年度)

【全体の目標】 将来にわたり発展する「競争力の高い農業」と「豊かで美しい農村」の実現

【計画のポイント】

1. 農業所得の向上
2. 「競争力の高い農業」の実現
3. 「豊かで美しい農村」の実現

(3) 富山県農業農村整備実施方針 (2019.8 : 2019～2026 年度)

【計画のポイント】

1. 水(施設)の適切な管理と強靱な基盤の形成
2. 競争力の高い農業を支援する土(農地)の整備
3. 豊かで美しい里(農村)の形成

本編
p 83～85

③ にかわ地域における課題の整理

本編 p 87～91

人口減少・少子高齢化に伴い、本地域でも農業従事者の不足が顕著となり、生活基盤・農業生産基盤を安定させつつ、担い手の確保・育成を図りながら、農地生産の効率化や農地集積の加速などを図る必要があります。一方で、本地域は 4,000m の高低差で育まれた自然・景観・文化・歴史といった地域資源など多くの強みを有し、さらに、このまま住み続けたいと思っている地域住民の意向が高いことから、地域が団結して地域資源を維持・活用していくことが必要です。分野別の主な課題については、以下の通りです。

1. 農業に関する課題

● **農業生産** … 地域の個性を活かしたブランド力・販売力の強化、消費者視点の農業生産の推進、安全な食品の提供

● **農業基盤** … 生産性向上につながる農業基盤の整備・維持、耕作放棄地の解消と発生防止

2. 人に関する課題

● **担い手** … 農業の担い手の確保・育成、担い手への農地集積の促進、経営基盤の安定・強化

● **交流** … 都市間交流の促進や地域を支える各種団体の連携による地域の活性化

3. 農村に関する課題

● **自然・文化** … 山・川・海の豊かな自然や歴史・文化、景観の保全・活用

● **生活環境** … 鳥獣被害対策の推進、幅広い世代が安全・安心で快適に暮らせる生活環境の充実

④ 施策体系

4000mの高低差で育まれる地域の個性をつなぎ、
 未来に誇れる「にいかわ地域」農業・農村の実現

農村振興のテーマ

1. 地域の個性を活かす“農業づくり”

(対応する課題：農業生産、農業基盤)

深海 1,000mの富山湾から 3,000m級の山が連なる立山連峰まで 4,000mの高低差のある大自然を有したにいかわ地域において、豊かな水を活かした米づくりを中心に、海洋深層水を使ったトマト栽培や収益性の高い園芸作物など、地域の特徴を活かした高品質な農産物の生産や販路拡大、各地域の農産物をつなぎ高付加価値の特産品を開発するとともに、最新技術の導入や優良農地の確保などにより生産基盤を強化し、安全でおいしいふるさとの味を提供することで、にいかわ地域の個性を活かした農業を実現する。

2. 農業の未来をつなぐ“人づくり”

(対応する課題：担い手、交流)

少子高齢化の更なる進行を見据え、認定農業者や集落営農組織などの地域の担い手に農地を集約するとともに、経営基盤の安定・強化を図る。さらに、特色ある地域の様々な資源を活用した交流促進により関係人口を創出し、各種団体の連携により地域内の人をつなぎ、地域を担う人材を確保・育成することで、にいかわ地域の農業を未来につなげる人づくりを推進する。

3. 安全・安心で誇れる“農村づくり”

(対応する課題：自然・文化、生活環境)

山・川・海の多様な自然や景観、歴史、文化など様々な魅力を地域ぐるみで保全・活用するとともに、幅広い世代が安心して生活を営むことができるよう、災害や鳥獣被害に備えた対策を講じ、公共交通などの生活環境を維持・確保することで、地域の個性を活かした農産物や担い手の拠り所となる、安全・安心で誇れる農村を形成する。

基本方針・施策

① 個性を活かした農産物の生産

- 高品質で選ばれる米づくりの推進
- 水田等をフル活用した麦、大豆等の生産推進
- 園芸作物の生産推進
- 畜産物の生産推進
- 付加価値の高い商品・サービスの開発
- 農産物等の輸出促進

② 個性を高める生産基盤の強化

- 農業水利施設の保全・高機能化
- ICT等を活用した省力化、高品質化等の推進
- 農地の大区画化・汎用化の推進
- 優良農地の確保
- 小水力発電の推進

③ ふるさとを味わう食の提供

- 食育や地産地消の推進
- 食品の安全確保の推進
- 環境にやさしい農業の推進

① 意欲ある人材の確保・育成

- 地域を支える担い手の確保・育成
- 担い手の経営力向上と経営基盤強化
- 土地改良区の体制強化

② 地域愛を高める地域内外の交流の強化

- 未来を担う子ども達への郷土愛を醸成
- 都市農村交流の推進
- 「にいかわ地域」のPR強化

① 快適で豊かな農村環境の形成

- 美しい農村環境の整備・保全
- 持続可能な中山間地域の振興
- 鳥獣被害防止対策の推進

② 安全・安心な生活環境の整備

- 防災・減災対策の推進
- 生活インフラや公共交通等の生活環境の維持・確保

主な取り組み

- ・ 多様な需要に対応した米づくり
- ・ 高品質な大麦・大豆の生産推進
- ・ 「1億円産地づくり」等による大規模な産地形成
- ・ 畜産生産基盤の整備
- ・ 地域産品の高付加価値化への取り組みの推進
- ・ 米や地域産農産物等の輸出力の強化 など

- ・ 農業水利施設の適切な維持管理
- ・ 先端技術を活用した実用性の高い新技術導入の推進
- ・ 水田における園芸作物(高収益作物)等の生産を可能とする排水対策等の推進
- ・ 優良農地の確保
- ・ 農業用水等を利用した小水力発電の推進 など

- ・ 地域ぐるみの地産地消の推進
- ・ 安全な農林水産物の供給と食品の安全確認体制の強化
- ・ 環境にやさしい農業の推進 など

- ・ 新規就農者、青年農業者の確保・育成
- ・ 地域営農体制の構築と基盤強化
- ・ 土地改良区の組織・運営基盤の強化 など

- ・ 基幹的農業水利施設の見学会の開催
- ・ 都市農村交流の推進
- ・ 食のとやまブランド推進の取り組みの充実・強化 など

- ・ 快適な農村環境の整備
- ・ 戦略的な中山間地域振興の推進
- ・ 鳥獣被害防止対策の推進 など

- ・ 災害の未然防止対策等の推進
- ・ 生活道路の整備 など

目標指標

- ・ 米の1等比率
- ・ 大麦・大豆の単収
- ・ 大豆の1～3等比率
- ・ 1億円産地づくり戦略品目(ねぎ、さといも、だいこん)の栽培面積
- ・ 飼料用米栽培面積

- ・ 農業水利施設の管理協定締結数
- ・ 機能保全計画に基づいた水路整備延長
- ・ ICTなど先端技術を活用した新技術の導入地区
- ・ ほ場整備面積
- ・ 水田汎用化整備面積
- ・ 大区画ほ場面積 ・ 農地(耕地)面積
- ・ 農業用水を利用した小水力発電の整備箇所数

- ・ インショップにおける農林水産物等販売額
- ・ 直売所における農林水産物等販売金額
- ・ 有機・特別栽培農作物の栽培面積
- ・ GAPの認証取得経営体数

- ・ 新規就農者数
- ・ 農村女性起業数
- ・ 担い手による経営面積の割合
- ・ 認定農業者数
- ・ 法人経営体
- ・ 土地改良区数

- ・ 地域の水循環を学ぶ基幹的水利施設の見学会(施設数)
- ・ 体験交流人口
- ・ 交流地域活性化重点地域(指定数)

- ・ 農村環境保全活動の取り組み集落数、面積
- ・ 棚田を保全する活動件数
- ・ 中山間地域等直接支払協定締結数
- ・ 農業・農村サポーター活動参加者数
- ・ 耕作放棄地面積
- ・ イノシシによる農作物被害額

- ・ 防災重点農業ため池の防災対策の実施箇所数
- ・ 農地地すべり防止施設の機能保全対策地区
- ・ 空き家情報バンクのマッチング率

⑤ゾーンごとの取り組みと連携の方針

農村振興基本計画図

都市・平地農業ゾーン

1. 地域の個性を活かす“農業づくり”

- 米や地域産農産物等の輸出力の強化(パックごはんの輸出等)
- 優良農地の確保(耕作放棄地の解消や発生防止等) など

2. 農業の未来をつなぐ“人づくり”

- 地域の実情に応じた多様な担い手の確保(あさひ農学舎の活用等)
- 移住・定住の促進(とやま帰農塾の活用等) など

3. 安全・安心で誇れる“農村づくり”

- 災害の未然防止対策等の推進(海岸防災林の整備等)
- 空き家の適切な管理と利活用 など



凡例

- 交流施設 (道の駅、温泉施設、体験施設、新幹線駅)
- ◆ 特産品
- ⇄ 農産物・人・地域の連携軸
- 北陸新幹線
- あいの風とやま鉄道
- 富山地方鉄道
- 高速道路
- 国道
- 広域農道
- 県道
- 地域界

“農産物”を(で)つなぐ

- 地域ぐるみの地産地消の推進 (魅力ある特産品の開発 など)
- 高品質で生産性の高い米づくり (関係団体が一丸となって生産体制を構築 など)

“地域”をつなぐ

- 農村環境の保安全管理の推進 (地域ぐるみでの維持管理活動による美しい農村環境の保全 など)
- 鳥獣被害防止対策の推進 (鳥獣被害防止柵の設置におけるボランティア等の積極的な参加 など)

“人”をつなぐ

- 都市農村交流の推進 (都市住民を対象に「とやまの田舎」等への参加誘導を促進 など)
- 学校と地域との連携による情操教育の推進 (農業体験や田んぼの生き物調べ など)

中山間農業ゾーン

1. 地域の個性を活かす“農業づくり”

- 優良農地の確保(耕作放棄地の解消・発生防止等)
- ハード事業(中山間)との連携(中山間地域農業農村総合整備事業) など

2. 農業の未来をつなぐ“人づくり”

- 地域の実情に応じた多様な担い手の確保
- 都市農村交流の推進 など

3. 安全・安心で誇れる“農村づくり”

- 戦略的な中山間地域振興の推進
- 鳥獣被害防止対策の推進(鳥獣侵入防止柵の設置等) など